

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブランジスタ

コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期第1四半期 | 1,113 | 39.7 | 83 | 95.0 | 83 | 91.6 | 58 | 109.3 |
| 2022年9月期第1四半期 | 796 | ー | 42 | ー | 43 | ー | 27 | ー |

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 57百万円 (99.8%) 2022年9月期第1四半期 28百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期第1四半期 | 4.17 | ー |
| 2022年9月期第1四半期 | 1.99 | 1.99 |

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年9月期第1四半期 | 2,730 | 1,723 | 61.3 |
| 2022年9月期 | 2,571 | 1,616 | 62.8 |

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 1,673百万円 2022年9月期 1,616百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期 | ー | 0.00 | ー | 0.00 | 0.00 |
| 2023年9月期 | ー | ー | ー | ー | ー |
| 2023年9月期（予想） | ー | ー | ー | ー | ー |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2023年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,100 | 22.0 | 400 | 56.3 | 400 | 54.9 | 250 | 40.0 | 17.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ブランジスタエール、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年9月期1Q | 14,575,300株 | 2022年9月期 | 14,575,300株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年9月期1Q | 654,988株 | 2022年9月期 | 654,988株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年9月期1Q | 13,920,312株 | 2022年9月期1Q | 13,919,779株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、ウィズコロナの下で、景気は緩やかに持ち直しております。一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要があります。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、既存サービスの「電子雑誌」「ソリューション」に加え、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を開始し、業容拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、電子雑誌売上が好調に推移したことに加え、「アクセルジャパン」の契約企業数が順調に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高1,113百万円（前年同四半期比39.7%増）、営業利益83百万円（同95.0%増）、経常利益83百万円（同91.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益58百万円（同109.3%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「アクセルジャパン」を開始したことに伴い、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「メディア事業」「プロモーション支援事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであり、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[メディア事業]

メディア事業では、無料で読める電子雑誌を制作・発行し、クライアント企業へ当社電子雑誌への広告掲載や、電子雑誌雑誌の制作受託といったサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力電子雑誌「旅色」の地方自治体とのタイアップ広告売上が増加し、電子雑誌売上が好調に推移いたしました。

以上の結果、メディア事業は、売上高630百万円（前年同期比30.9%増）、セグメント利益57百万円（前年同期比166.8%増）となりました。

[プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間において「アクセルジャパン」の提供を開始し、契約企業数が順調に増加いたしました。事業開始当初から黒字化を達成し、好調に推移しております。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高189百万円、セグメント利益31百万円となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、ウェブサイト制作・運営の売上高が減少いたしました。また、人件費等の販管費が増加いたしました。「ブランジスタ物流」等のECサポート関連の売上高は、堅調に推移いたしました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高253百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益36百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,730百万円となり、前連結会計年度末に比べて158百万円の増加となりました。当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

（流動資産）

流動資産は1,984百万円となり、前連結会計年度末に比べて173百万円の増加となりました。これは主に、売掛金が196百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は746百万円となり、前連結会計年度末に比べて14百万円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産の減少により投資その他の資産が19百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

流動負債は888百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円の増加となりました。これは主に、契約負債が69百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は118百万円となり、前連結会計年度末に比べて16百万円の減少となりました。これは、銀行への返済により長期借入金が減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べて107百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が58百万円増加したことに加え、(株)ブランジスタエール設立に伴い非支配株主持分が50百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染症の影響については、新たな感染拡大により経済活動が大幅に停滞しないことを前提としております。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 956,713 | 938,782 |
| 売掛金 | 620,346 | 816,481 |
| 前払費用 | 57,870 | 97,372 |
| その他 | 218,424 | 178,998 |
| 貸倒引当金 | △41,912 | △47,162 |
| 流動資産合計 | 1,811,442 | 1,984,472 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 23,495 | 26,906 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 47,310 | 49,195 |
| 無形固定資産合計 | 47,310 | 49,195 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 645,575 | 623,976 |
| その他 | 44,150 | 46,206 |
| 投資その他の資産 | 689,725 | 670,182 |
| 固定資産合計 | 760,532 | 746,284 |
| 資産合計 | 2,571,974 | 2,730,757 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 115,117 | 120,065 |
| 短期借入金 | 331,111 | 289,444 |
| 未払金 | 96,151 | 143,803 |
| 未払法人税等 | 6,771 | 5,648 |
| 契約負債 | 217,951 | 287,533 |
| 預り金 | 45,279 | 28,965 |
| その他 | 8,389 | 13,194 |
| 流動負債合計 | 820,772 | 888,655 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 135,000 | 118,888 |
| 固定負債合計 | 135,000 | 118,888 |
| 負債合計 | 955,772 | 1,007,544 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 621,052 | 621,052 |
| 資本剰余金 | 1,021,448 | 1,021,448 |
| 利益剰余金 | 462,948 | 521,026 |
| 自己株式 | △493,361 | △493,361 |
| 株主資本合計 | 1,612,087 | 1,670,165 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 4,114 | 3,010 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,114 | 3,010 |
| 非支配株主持分 | — | 50,036 |
| 純資産合計 | 1,616,202 | 1,723,212 |
| 負債純資産合計 | 2,571,974 | 2,730,757 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 796,897 | 1,113,569 |
| 売上原価 | 227,658 | 340,294 |
| 売上総利益 | 569,238 | 773,274 |
| 販売費及び一般管理費 | 526,595 | 690,129 |
| 営業利益 | 42,643 | 83,144 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 7 |
| 受取給付金 | — | 151 |
| 還付金収入 | 1,448 | — |
| 雑収入 | 388 | 58 |
| 為替差益 | — | 306 |
| 営業外収益合計 | 1,839 | 523 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 948 | 580 |
| 為替差損 | 180 | — |
| 営業外費用合計 | 1,128 | 580 |
| 経常利益 | 43,354 | 83,087 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | — | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 43,354 | 83,087 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 720 | 3,374 |
| 法人税等調整額 | 14,888 | 21,599 |
| 法人税等合計 | 15,608 | 24,973 |
| 四半期純利益 | 27,745 | 58,113 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | 36 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 27,745 | 58,077 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 27,745 | 58,113 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 787 | △1,103 |
| その他の包括利益合計 | 787 | △1,103 |
| 四半期包括利益 | 28,532 | 57,009 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 28,532 | 56,973 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | 36 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、(株)ブランジスタエールを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当第1四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実であると認められ、影響の概要は、連結貸借対照表の総資産の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---------------------------|---------|-----------------|---------------|---------|--------------|---------|--------------|-----------------------|
| | メディア事業 | プロモーション 支援事業 | ソリューション 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 481,203 | — | 257,627 | 738,830 | 58,066 | 796,897 | — | 796,897 |
| 外部顧客への売上高 | 481,203 | — | 257,627 | 738,830 | 58,066 | 796,897 | — | 796,897 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | 23,861 | 23,861 | △23,861 | — |
| 計 | 481,203 | — | 257,627 | 738,830 | 81,928 | 820,759 | △23,861 | 796,897 |
| セグメント利益 | 21,470 | — | 45,063 | 66,534 | 26,009 | 92,543 | △49,900 | 42,643 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△49,900千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|---------|-----------------|---------------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------------------|
| | メディア事業 | プロモーション 支援事業 | ソリューション 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 630,107 | 189,420 | 253,855 | 1,073,383 | 40,186 | 1,113,569 | — | 1,113,569 |
| 外部顧客への売上高 | 630,107 | 189,420 | 253,855 | 1,073,383 | 40,186 | 1,113,569 | — | 1,113,569 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | 20,308 | 20,308 | △20,308 | — |
| 計 | 630,107 | 189,420 | 253,855 | 1,073,383 | 60,494 | 1,133,877 | △20,308 | 1,113,569 |
| セグメント利益 | 57,285 | 31,415 | 36,460 | 125,162 | 15,585 | 140,747 | △57,602 | 83,144 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△57,602千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間において(株)ブランジスタエールを設立し、「アクセルジャパン」を開始したことに伴い、業績管理体制を見直し、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「メディア事業」「プロモーション支援事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。